

通信 シルバー秩父

平成27年7月17日号

定時総会終わる

去る6月17日(水)平成27年度定時総会が地場産センターにおいて開催されました。

143名の会員が出席する中で、ご来賓の代表として秩父公共職業安定所所長小暮俊明氏からご挨拶をいただき盛大に行われました。

提案された2件の議案は、すべて満場一致で可決承認されました。

総会での挨拶

久喜邦康理事長

公益社団法人秩父市シルバー人材センター理事長、秩父市長の久喜邦康でございます。

シルバー人材センターは、高齢者の方の豊富な社会経験と優れた能力を生かし、センター活動を通して新たな生きがいの発見と、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的としております。

平成27年2月12日の国会に

おきまして、安倍首相は、「柔軟かつ多様な働き方」の中で、「高齢者の皆さんに、多様な就業機会を提供する。シルバー人材センターには、更なるその機能を發揮してもらいます。」と演説されました。

このように、「シルバー人材センター」の名を出された施政方針は初めてです。国がシルバー人材センターに大きな期待を寄せていることがわかります。

高齢化が進む中、今年度からは、高齢者活用・現役世代サポート事業として、派遣事業に取り組むことを予定しています。契約については発注者の事情もありませんので、無理なく進めていきます。



シルバー人材センターは、高齢者と地域の交流、高齢者の居場所づくり、人とのつながり、

次世代への人的支援等、社会のセーフティーネットの一つとしての役割があり、魅力のあるセンター運営に心がけてまいります。厳しい状況ではありませんが、適正な就業確保への取り組みを継続し、新たな開拓への努力をいたします。福祉の受け手から

社会の担い手としての高齢者の活動が期待される中、公益目的事業比率が95%を超えているシルバー人材センターの社会的信用度は高く、誇りを持って活動できるものと確信しております。

昨年も引き続き地域の社会福祉活動、介護事業のため、3万円を市へ寄付しました。これはシルバーまつりでのバザー売上から捻出したもので、会員の皆様の温かい心を感じ、改めて感謝を申し上げます。

理事長として、会員の皆さん方、一人ひとりがより充実した活力ある生活が送れますよう、また、このシルバー人材センターという、しっかりとした組織が秩父市の活力の原動力の一翼を担えるよう、努力したいと考えております。

終わりに当たり本事業に関連される各方面の方々に、絶大なご協力をお願いし、今後ともに深いご理解と一層のご支援をお

願い申し上げますとともに会員皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。挨拶といたします。

総会の後、次の方たちが表彰されました。おめでとございます。(敬称略)

理事

加藤忠男 豊田武夫 大野智恵子
会員20年
土屋宗治 横田武
会員10年

若林貞雄 向井征行 平賀芳博
桜井幸雄 宮田幸子 柴崎志佳
長嶋賢一 原島守 黒沢知嘉雄

金子キク子 江野象義 加藤忠基
岩寄操子 坂本芳子 田中みさ子
柴岡勝 向井登志子 上林フミエ
黒澤立男 市川武康 新井康邦

加藤三二 木村初男 斉藤タミ
引間勝一 寫寄君子 黒沢愛
新井昌文 古川ヒロシ 富田章勇
中里孝男 町田きみ子 浅見孝吉
木村清 千島貴 近藤興治

職員10年
新井恵美子
次の方たちが新しい理事に選任されました。任期は平成28年度定時総会終結時までとなります。よろしくお願いいたします。

理事
森前光弘(専務理事) 若林睦子
吉澤はつみ

また、次の方たちが退任されました。

理事
新井清久(専務理事) 加藤忠男
大野智恵子 豊田武夫

新会員紹介

次の方たちが新しく仲間になりました。よろしくお願ひします。(敬称略)

五月

野口孝佳 清水アイ子 林賢一
山崎博 関田敏通 岡田千寿子

六月

大松福造 富田岩子 青羽洋
多田美知代 加藤明弘

農園だより

シルバー農園では6月7日、サツマイモの植え付け作業を行いました。会員16名が参加し、鳴門金時を800本植えました。秋の収穫時には、またお知らせしますのでご注文をお願ひします。



お知らせ

親睦会

グラウンドゴルフ大会結果

平成27年7月12日(日)
於・荒川総合運動公園

優勝 加藤忠男 スコア74
準優勝 中澤勇三 スコア81
3位 平野義次 4位 高野宣寛
5位 神田直子 6位 上林靖男
7位 田口好之 8位 今井昭夫
9位 古沢七蔵 10位 浜義一
ホールインワン賞 20名
参加者 53名



シルバーまつり

7月6日にシルバーまつり実行委員会が開かれ、今年も例年通り実施することになりました。9月6日(日)午前9時から開

会式を行い、バザーは10時介し予定です。

今年も出店、余興等にぎやかに行います。出店希望者、余興参加希望者は、調査表(事務所にあります。)を添えて事務所に申し込んでください。

確認のお願い

会員の皆様のお名前等の情報は、入会申込書をもとにパソコンに入力し、活用しています。今回、発送した文書の住所、氏名(文字)等が間違っていた場合は、お申し出ください。文字により、パソコンにない場合もありますのでご了承ください。

プロ野球観戦券のお知らせ

シルバー連合を通じ西武ライオンズから野球観戦招待券をいただきました。同封しましたので、ご活用ください。

会員だより

御手判寺の由来

栗原一夫

昨年秩父観音霊場の総開帳に大勢の人々が訪れ、秩父地方も久しぶりに賑わいを見せましたが、御開帳も無事終わり、人の行き交いも元に戻ったような昨今となりました。

ところで札所二十五番久昌寺

観音堂の山門には「御手判寺」とありますがその由来をご存知でしょうか。

納経帳には、中央に観音名、右側に山号、左側に寺号を書きますが、本来ならば久昌寺と書くところをここでは御手判寺と書いております。

御手判寺の由来は、秩父札所を開いたといわれる性空上人が閻魔大王から石造りの手判と証文を授かり、証文は西国札所二十四番中山寺へ、手判は秩父札所二十五番久昌寺へ納めたと言ったことから御手判寺の名が起ったと伝えられます。

当寺では寺宝として秘蔵しており、その刷物を「御手判」として頒布しております。

この御手判は万一の時お棺に入れてあげると、あの世へ行った時、閻魔様の裁きを受けなくて済むという通行手形なのだそうです。地元ではあまり知られておりませんが、西国、坂東、秩父の札所百カ所のうち当寺しかない貴重なものです。

いささかPRの感がないでもありませんが、こんな解説も身に着いてきました。お陰様で今年もシルバー会員として当納経所へ就業させていただいております。